

使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

アヲる 追肥機

AN-1A

取扱説明書



 アヲる産業株式会社

はじめに






- この度は、追肥機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- この追肥機は、粒状肥料を圃場に散布する為の機械です。他の用途には、絶対使用しないで下さい。粉状の肥料は使用できません。
- 本書は、追肥機を使用する際、是非守っていただきたい安全作業に関する基本的事項、並びに追肥機を適切な状態でご使用いただくための正しい使い方・調整に関する技術的事項を中心に構成しております。
- 追肥機を初めて使用される時はもちろん、日頃の取り扱いの前にも入念に読み内容を十分理解された上で、安全・確実な作業を心掛けて下さい。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管して下さい。
- 追肥機を貸与または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書を追肥機に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた、販売店・JA(農協)にご注文下さい。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上の観点から、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容およびイラストなどの一部が本機と一致しない場合がありますが、あらかじめご了承下さい。
- もしご不明の点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店・JA(農協)にご相談下さい。
- 取扱説明書の中の  **重要** 表示は、安全上、取扱上の重要なことを示しております。よく読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

表 示	重 要 度
 危 険	その警告に従わなかった場合、死亡事故または重傷を負うことになるものを示しております。
 警 告	その警告に従わなかった場合、死亡事故または重傷を負う危険性があるものを示しております。
 注 意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示しております。
	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用下さい。

目次

安全な作業をするために	1
保証とサービスについて	2
各部の名称とはたらき	3
各部の名称	3
各部のはたらき	4
作業のしかた	8
作業を始める前に	8
各部の調節のしかた	9
作業のしかた	11
使用後の手入れと保管	13
【残量肥料の排出の仕方】	13
サービス資料	14
主要諸元	14

安全な作業をするために

本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分に熟読されて安全な作業を行って下さい。

■ 運転者の条件

(1) はじめに

作業を始める前に、この「取扱説明書」をよく読むことから始めて下さい。これが安全に快適に作業を行うための第一歩です。

(2) 体調について

飲酒時や過労ぎみの時は、作業しないで下さい。この様な時に作業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こします。作業する時は、必ず心身とも健康な状態で行って下さい。

(3) 人に機械を貸す時は

機械を貸す時は、取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を熟読する様に指導して下さい。借りた人が、機械の取り扱いに不慣れなため、思わぬ事故を引き起こすことがあります。

(4) 服装について

化学肥料等の吸収や付着による人体への影響を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出しない服装で作業を行って下さい。

■ 作業を開始する前に

(1) 安全カバー類の装着確認

機械を使用する前に、安全カバー類が外されたままになっていないか、確認しましょう。外れたまま作業を行うと危険な部分が露出して傷害事故を引き起こす恐れがあります。

■ 作業時には

(1) 作業中は周りの人に注意(特に子供)
作業中は、作業員以外の人は機械に近づかないでください。機械自体や、作業による飛散物等で傷害事故を引き起こす恐れがあり危険です。

(2) 作業開始時は声をかけあって
作業を開始する時は、周囲の安全を十分確認して下さい。特に補助者と共に作業をする時は、声を掛け合って安全を確認して下さい。怠ると傷害事故の原因となり危険です。

■ 運搬・保管時は

(1) 運搬時には
機械を車両等で運搬する場合には、道路交通法に従って、安全に運搬して下さい。怠ると思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

(2) 格納・保管は、明るく広い所に
格納・保管場所は、明るく広い所にして下さい。暗く狭い所に保管していると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

■ 肥料の取り扱い

(1) 肥料の取り扱い

肥料の取扱いは、肥料メーカーの指示に従って、その都度正しく対処して下さい。

保証とサービスについて

■ 商品の保証

この商品には、保証書が添付されております。詳しくは保証書をご覧ください。

■ サービスネット

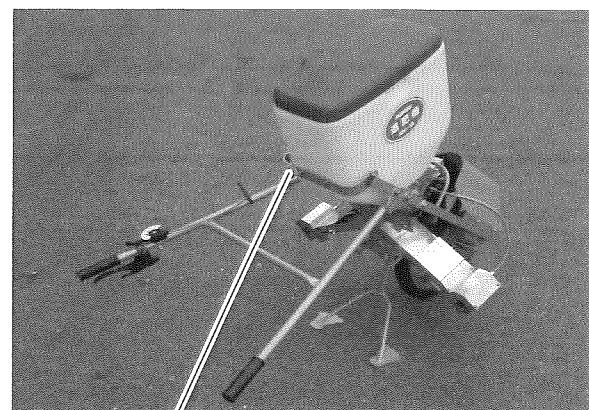
ご使用中の故障やご不審な点、およびサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた購入先へお気軽にご相談下さい。

その際、

(1)販売型式および区分

(2)製造番号

を併せてご連絡下さい。



型式マーク

(型式マーク)

追肥機

型式 AN-1A

製造番号 ※※※※※

みる産業株式会社

■ 補修用部品供給年限について

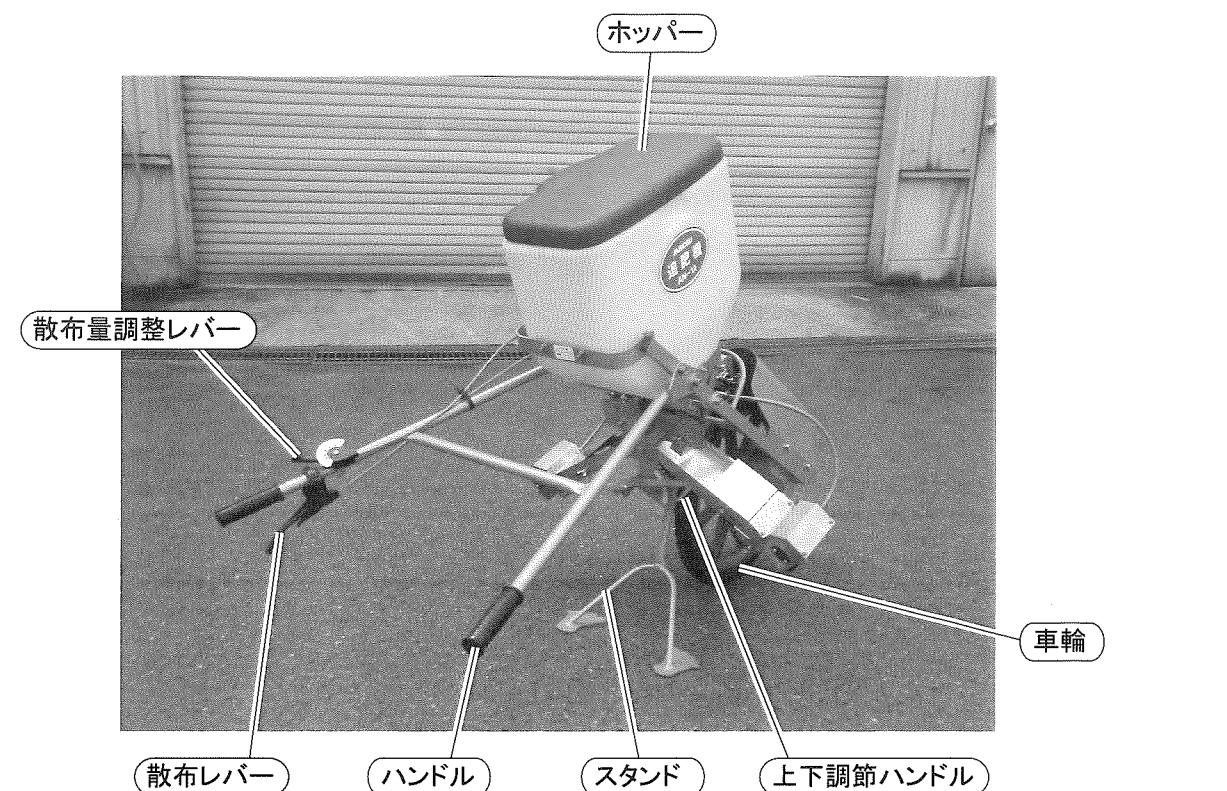
この商品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

各部の名称とはたらき

各部の名称



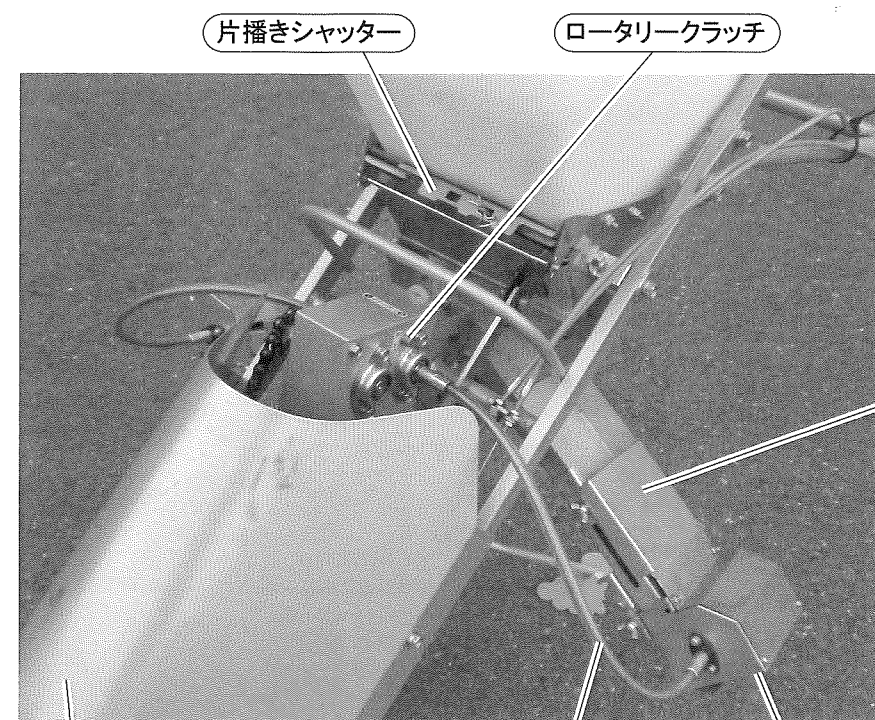
散布レバー

ハンドル

スタンド

上下調節ハンドル

車輪



分草板

フレキシブル

ロータリー

散布調整ガイド板

各部のはたらき

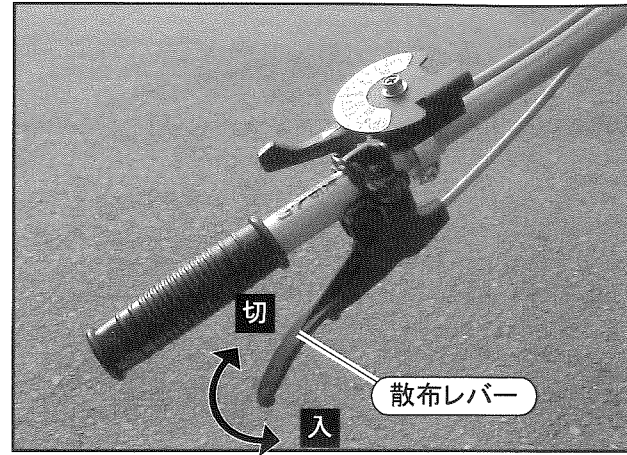
■ 散布レバー

「入」・・・肥料の散布が出来ます。

「切」・・・肥料の散布が止まります。

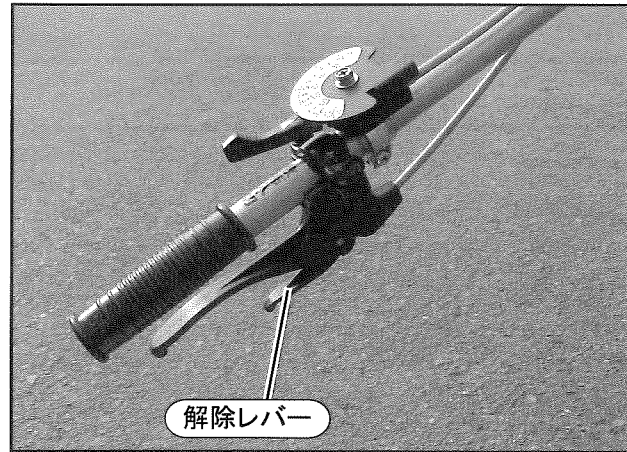
散布レバーを、カチッと音がするまで握ると、「切」の状態にロックされます。

解除レバーを握ると、「入」に戻ります。



重要

- ホッパーに肥料を入れる時は、散布レバーを「切」にして下さい。
- 機械を止める時は、散布レバーを「切」にして下さい。

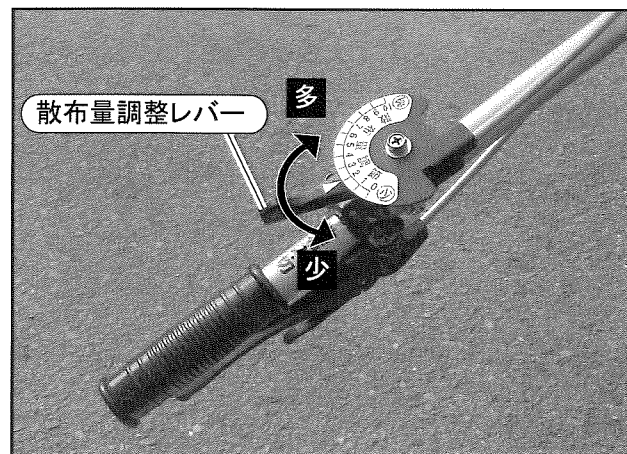


■ 散布量調整レバー

散布肥料の量を調節します。

重要

レバーを「多」にした時、レバーが自然に戻る場合は、中心の小ネジを少し締めて下さい。



■ ロータリークラッチ

「入」・・・ロータリーが回転します。

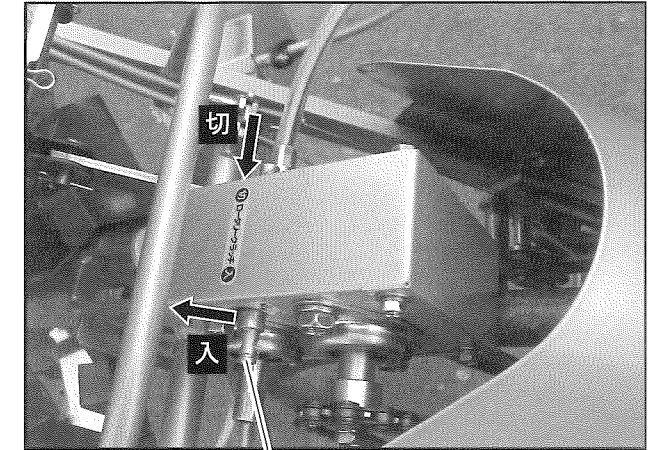
クラッチを入れる時は、クラッチ軸の端を上へ上げて下さい。

「切」・・・ロータリーが止まります。

クラッチを切る時は、カチッと音がするまでクラッチ軸を押して下さい。

重要

- 散布レバーを「入」にする前に、クラッチを「入」にして下さい。



クラッチ軸

■ 片播きシャッター

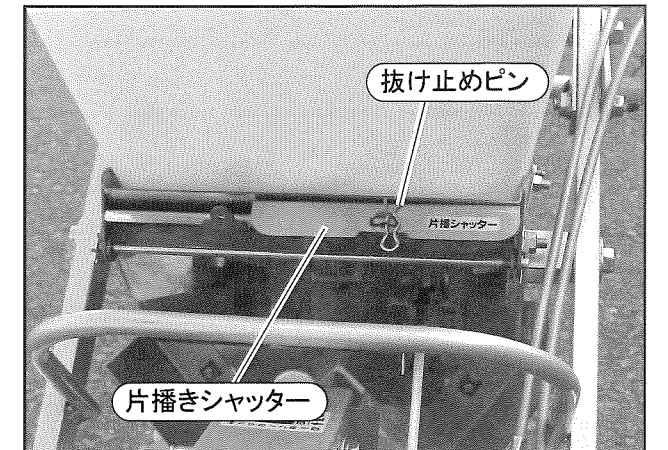
左右どちらかに入ると、片側だけ肥料の散布を止めることが出来ます。

(右図は、シャッターを左側に入れて左側の散布を止めている状態です。)



重要

- 片播きシャッターを使用しない時は、シャッター置きに引掛けて保管出来ます。



片播きシャッター

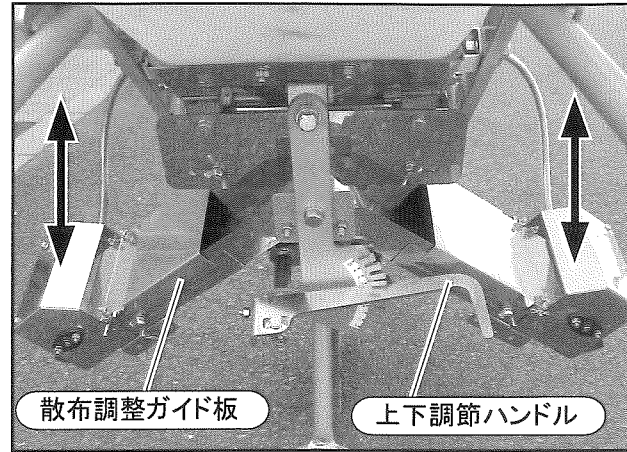


■ 散布調整ガイド板

作業に合わせて高さ、幅を調節できます。

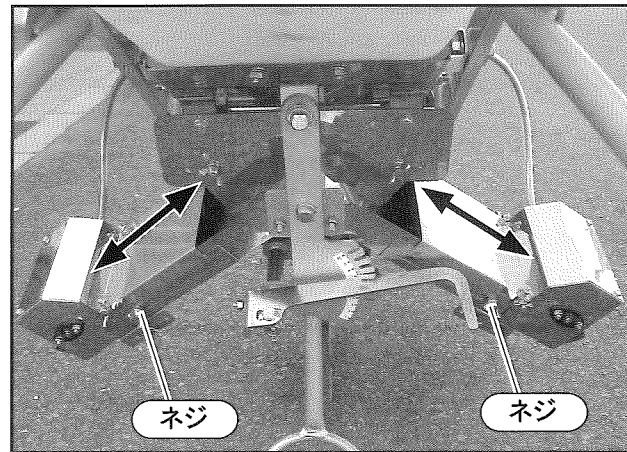
【高さの調節の仕方】

上下調節ハンドルで10段階に調節できます。



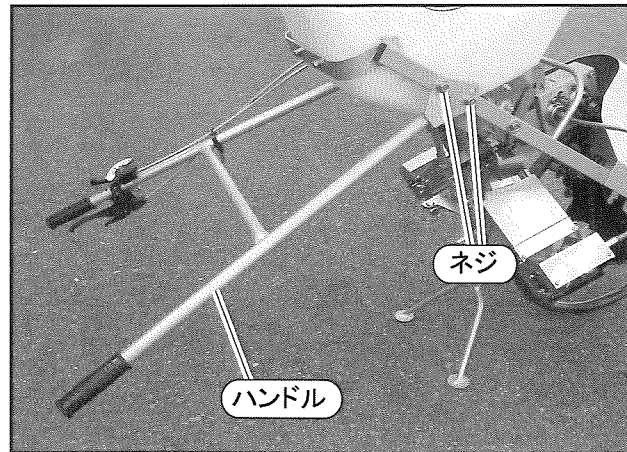
【幅の調節の仕方】

左右各2本のネジをゆるめて幅を調節して下さい。



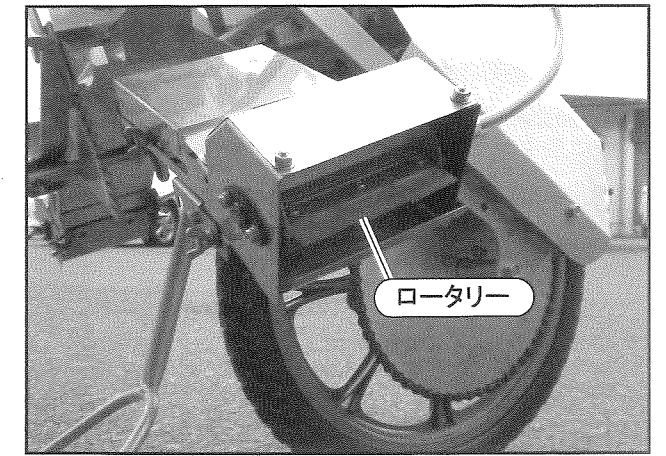
■ ハンドル

角度の調節が出来ます。
ネジを緩めて調節して下さい。



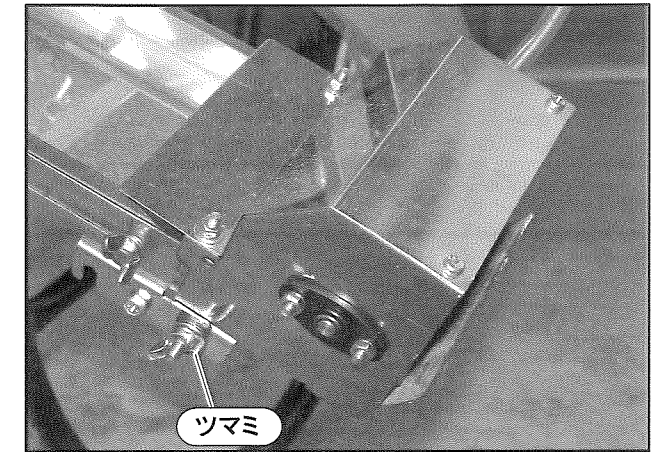
■ ロータリー

左右または片方に肥料を拡散させることが出来ます。
また、ロータリーを外せば条播きが出来ます。

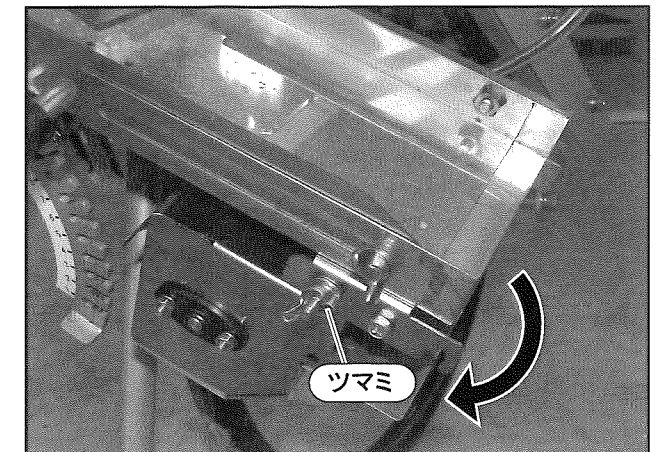


【条播きの仕方】

① 右図のつまみを緩めます。(外さないで下さい。)



② ロータリー一式を反転させて、右図の位置でつまみを締めて固定します。



重要

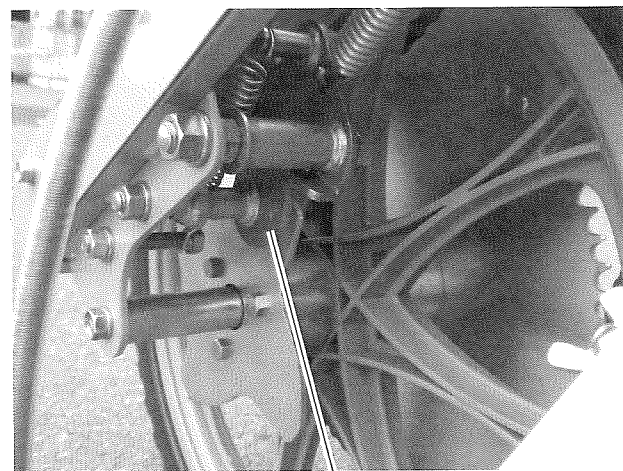
●ロータリークラッチを「切」にして下さい。

作業のしかた

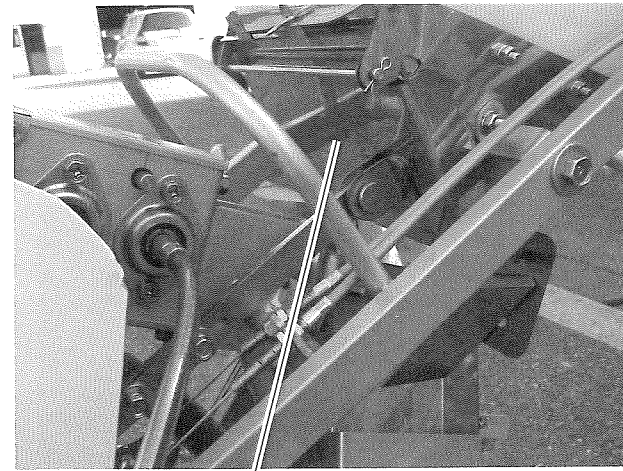
作業を始める前に

■ 作業前点検要領

点検箇所	点検内容
車輪	散布レバーを「切」で走行した時、車輪は軽く回りますか？
シャッター	散布レバーを「入」で走行した時、シャッターの開閉がスムーズに作動しますか？
調量カム	散布レバーを「切」で散布量調整レバーを「少」から「多」へ動かした時、調量カムはスムーズに動きますか？
各可動部	注油状態はどうですか？（チェーン、各支点、ワイヤー等）
各部のボルト、ナット	緩みや脱落はありませんか？



調量カム



シャッター

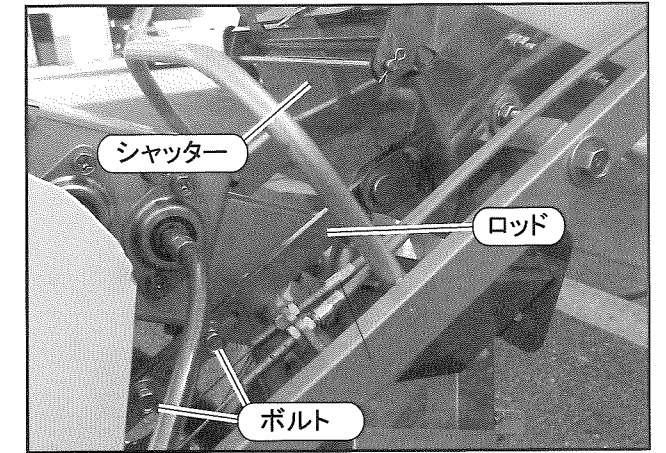
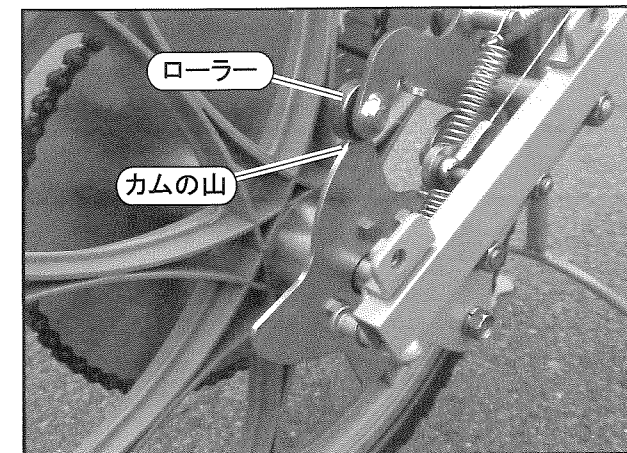
各部の調節のしかた

重要

ロッドと各ワイヤーの点検・調節は、①ロッド、②シャッターワイヤー、③調量ワイヤーの順番に行ってください。

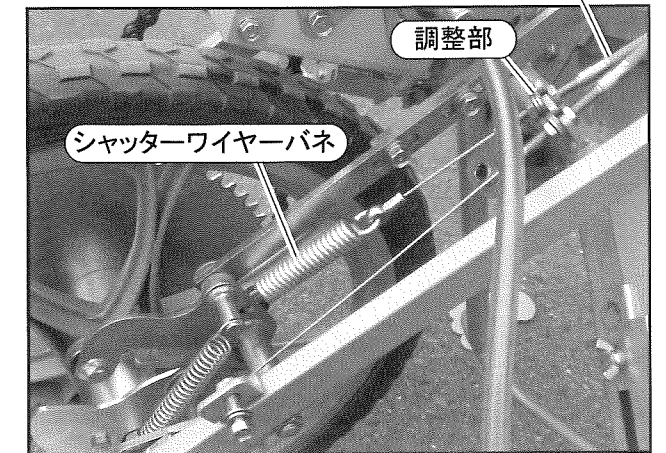
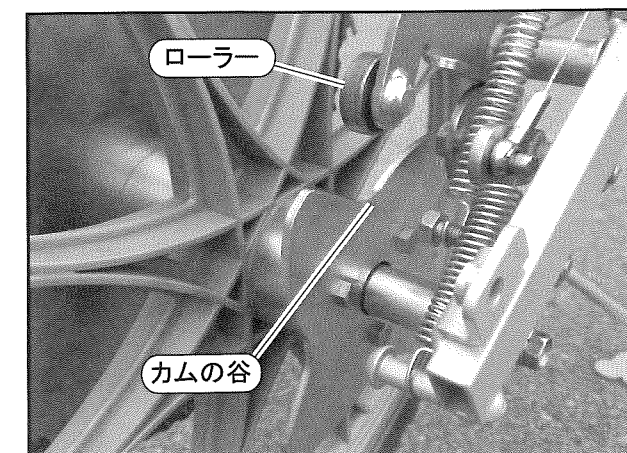
■ ロッドの調節

- ① 散布レバーを「入」にします。
- ② カムの山がローラーを持ち上げた状態にします。
- ③ シャッターの開きが2～3mmになる様に、ロッドのボルトを緩めて調節します。



■ シャッターワイヤーの調節

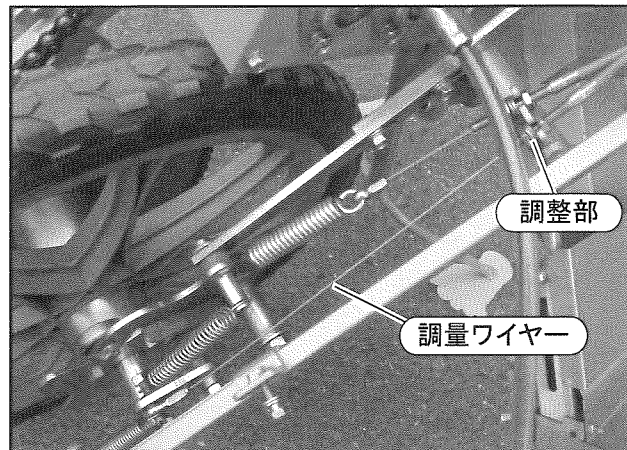
- ① 散布レバーを「切」にして、シャッターが閉じたことを確認します。
- ② カムの谷がローラーの位置になった状態にします。
- ③ シャッターワイヤーバネが、2～4 mm伸びる様にワイヤーを調節します。



シャッターワイヤー

■ 調量ワイヤーの調節

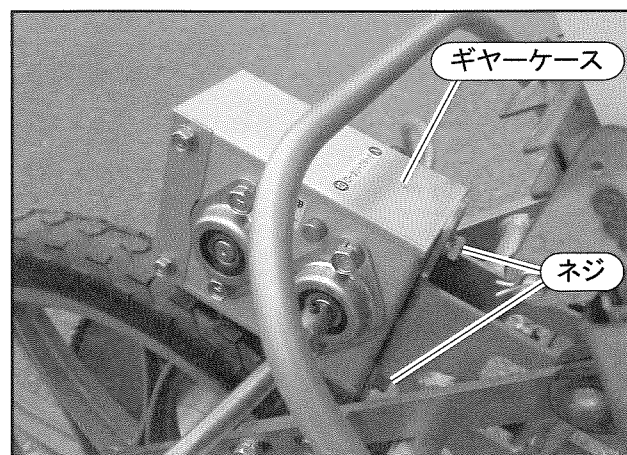
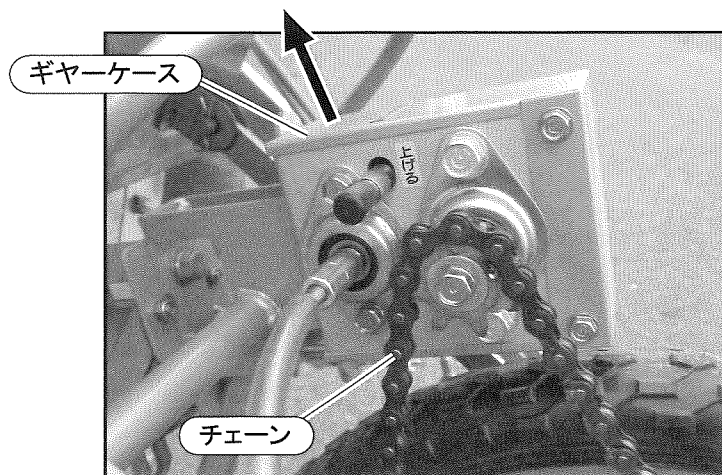
- ① 散布量調整レバーを「0」の位置にします。
- ② 調量ワイヤーの遊びが、0～2 mmとなる様に調節します。
- ③ この時、シャッターの開きが、4 mm以下であることを確認します。



■ チェーンの調節

チェーンが伸びてきたら、下記の手順でチェーンを張って下さい。

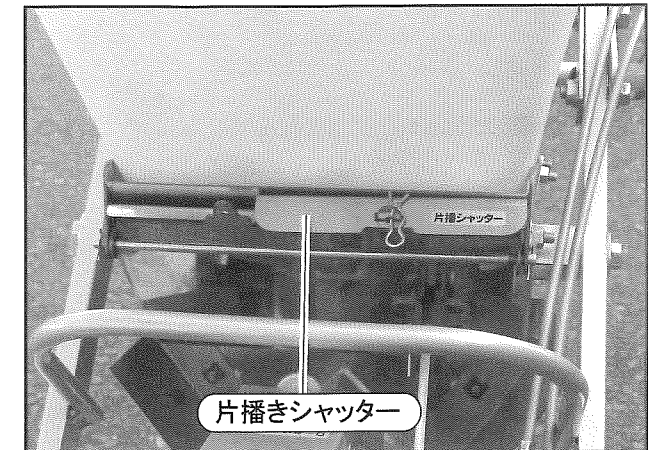
- ① ギヤークース取付ネジ2ヶ所を緩めます。
- ② ギヤークースを上方に上げてチェーンを張ります。
- ③ 調節後は、取付ネジを確実に締めて下さい。



作業のしかた

1. 左右への播き方決定

左右両播き・・・片播きシャッターを使用しない。
左または右播き・・・片播きシャッターを使用する。
(P.5「片播きシャッター」参照)



2. 肥料の供給

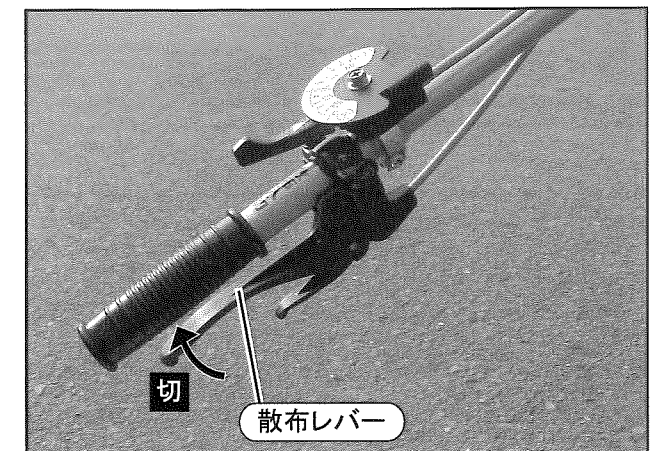
ホッパーの蓋を外し、粒状肥料を供給して下さい。

重要

- 粉状の肥料は使用出来ません。

重要

- ホッパーに肥料を入れる時は、散布レバーを「切」にして下さい。
- 肥料に塊がある場合は、塊を除去するか細かく粉砕して使用して下さい。
- 肥料が湿っていて握りしめた時、固まるような場合は、肥料をシート等に移して水分を飛ばしてから使用して下さい。

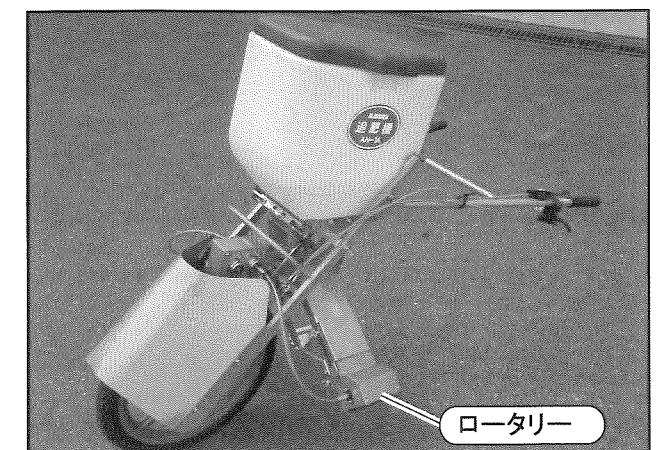


3. ロータリーの回転

両側または片側に肥料を飛散させる時、使用します。
クラッチを「入」にしてロータリーを回して下さい。
(P.5「ロータリークラッチ」参照)

重要

- 散布レバーを「入」にする前に、クラッチを「入」にして下さい。



4. 進み方

機械が左右に傾かないように支持して下さい。
 散布レバーを「入」にして散布を始めます。
 散布終了点の少し手前で散布レバーを「切」にします。



重要

- 走行しながら散布量調整レバーで肥料の量を調節して下さい。
 調量目盛の目安は下の(表1)に示します。
- 散布開始点より50~60 cm手前から開始します。そして、直後に散布レバーを「入」にします。
- 散布状態を見て、散布調整ガイド板の高さ、幅を調整して下さい。

散布量と調量目盛の目安(表1)

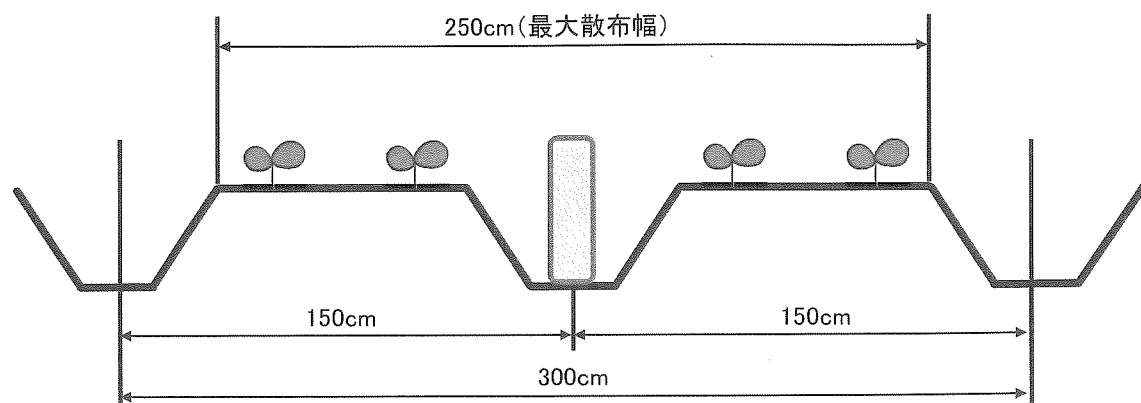
調量目盛	散布量(kg/10a)
1	0.4
2	3
3	13
4	38
5	64
6	90
7	115
8	137
9	153
10	170

※表は下記条件の場合の10a当りの散布量を示しています。

- ① 畝間隔:150cmの場合
- ② 散布幅:250cm(2畝同時散布)で、1度走行した場合
(走行距離:約333m)
- ③ 歩行速度:約0.5m/sの場合

※表は、あくまでも目安です。

肥料の粒径、比重、および歩行速度によって、散布量は異なりますので、散布量を確認しながら作業してください。



使用後の手入れと保管

注意

格納・保管場所は、明るく広い、平坦な所にして下さい。暗く狭い所に保管していると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

重要

機械を長期格納する場合には、ホッパー内に残った肥料を取り出しておいて下さい。

■ 使用後の手入れ

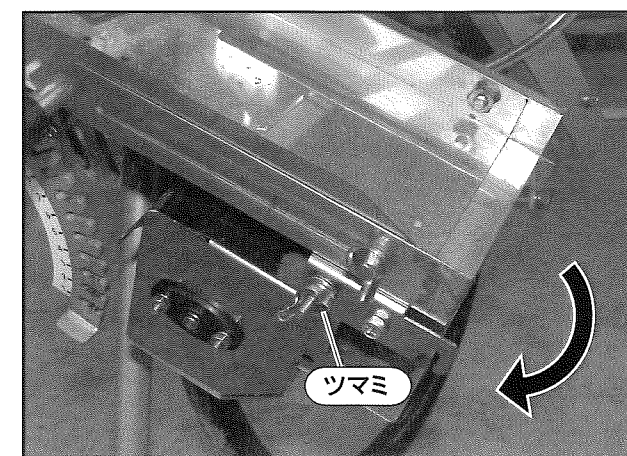
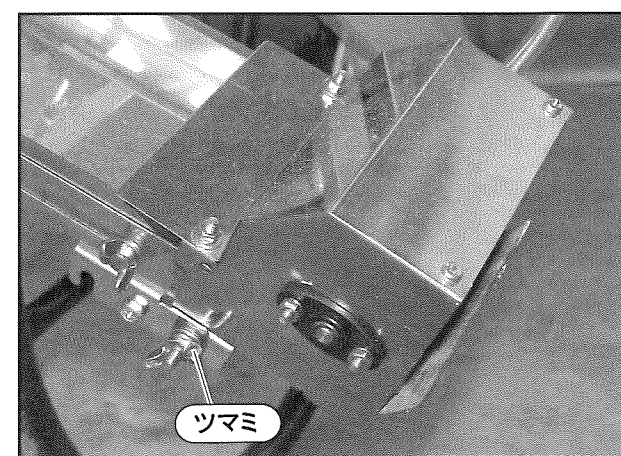
- ① 作業終了後は、その日のうちに残った肥料を排出し、肥料と泥土を洗い流して下さい。
- ② 水気を取り除いた後、チェーン、ワイヤーおよび可動部に注油して下さい。



スタンド

【残量肥料の排出の仕方】

左図のつまみを緩め(外さないで下さい。)ロータリー一式を反転させて、右図の位置でつまみを締め直し、シャッターが開いた状態にして散布調整ガイド板を通して肥料を排出して下さい。



■ 保管

散布レバーは「入」にして、シャッターが開いた状態で停車し、シート等でホコリが付かない様にして下さい。

サービス資料

主要諸元

名 称	みのる追肥機
型 式	AN-1A
寸 法	全長118×全幅58～75×全高99cm
重 量	17.5kg
発 泡 車 輪	外径φ46×幅4.3cm
肥 料 の 種 類	粒状肥料
ホ ッ パ ー 容 量	28リットル
繰 出 方 式	シャッター開閉式
散 布 方 式	ロータリー飛散式 (ロータリーの取り外しでスジ播き可)
ロータリーの駆動	チェーン駆動
散 布 量 調 節	シャッター開閉量手元調節
散 布 入 切	手元レバー式
肥 料 散 布 幅	50～250cm
付 属 品	取扱説明書・保証書 各1部

■ 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求め下さい。
市販類似部品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

■ 純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、本機に一番マッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷しておりますので、安心してご使用いただけます。
類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



みのる産業株式会社

本社工場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市447
TEL (086) 955-1123 (代) FAX (086) 955-5520
東京支店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野210
TEL (048) 683-9451 (代) FAX (048) 683-9452
長野営業所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野582-4
TEL (026) 257-6530 (代) FAX (026) 257-6531
九州支店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1020-1
TEL (092) 921-6006 (代) FAX (092) 921-6008

ホームページ <http://www.minoru-sangyo.co.jp/>